

身近な昆虫たち



ベニシジミ



ハシロコシジミ

「足元の小さな世界」 写真・文 藤井 醇

発行 アトリエ・フジイ

発行日 2013年3月1日

写真と文 藤井 醇

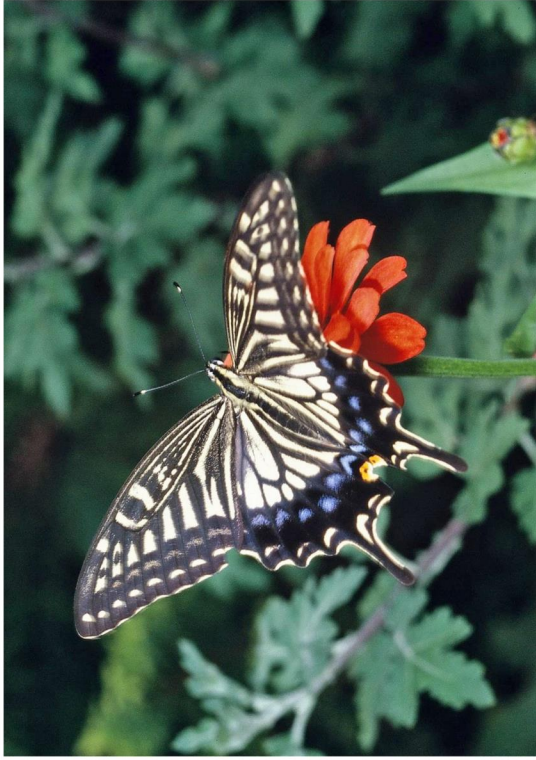
足元の小さな世界



ベニシジミ

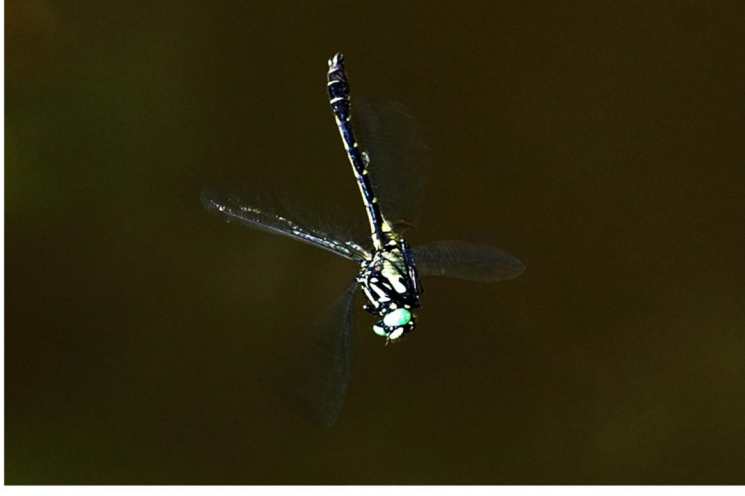


ナナホシテントウ



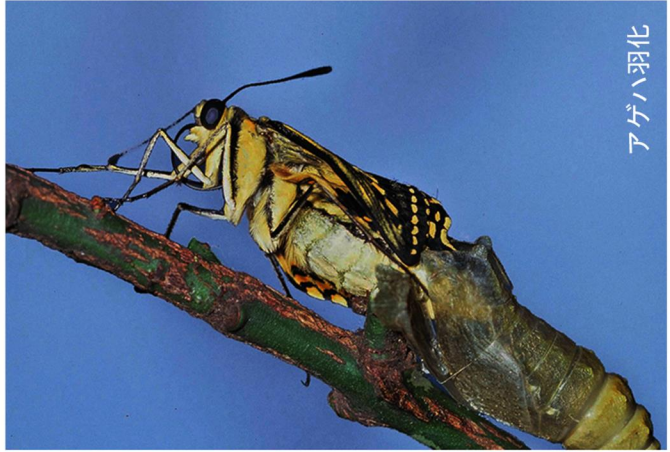
庭の花に

飛ぶ棒



トンボ

庭に一本のサンショウがあれば、アゲハがきてくれ、幼虫も、そして羽化も見られるかもしれません。



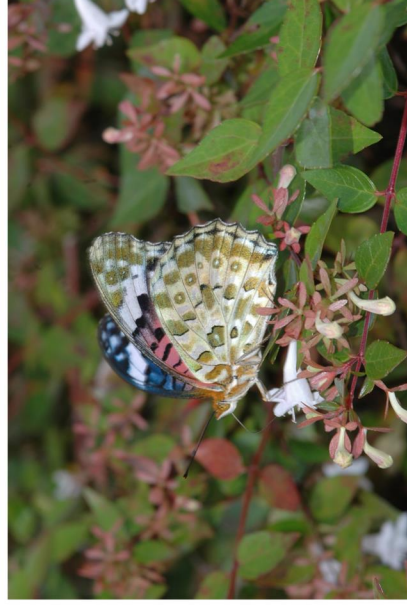
アゲハ羽化

飛んで灯に入る

夏の終わりに秋にかけて大型のヤマユガの仲間が出現し、灯火に惹かれてやってきます。写真はその中の一種クスサン。繭は糸ではなく、テグスのように太く、マユはスケスケで蛹が見えます。そんな繭ですからあまり役にたたず利用されません。下が幼虫です。薄い水色がかった綺麗な毛虫です。



右の毛虫はヤマユガ科の代表ヤマユガの幼虫。緑色の美しいマユを造ります。昔からその糸は使われてきました。現在も養殖が研究されつづけています。ナラ、クスギの葉を食べ素敵な薄緑色の絹糸を、提供してくれます。



最近こんなチョウを家の庭や校庭で見ることがありませんか？もともと暖地系のチョウで静岡辺りが北限でしたが、生活圏を東北へ広げ10年前には東京近辺、最近では信州でも普通に見られるようになりました。幼虫の食草がスミレのため一挙に増えてきたようで、庭の花壇などあたりまえにすがたを見せているようです。

数年前サナギを頂きチャンスに恵まれ快心の連続写真が得られました。蛹は前頁のアゲハとは逆に下向きにぶら下がります。垂蛹といえます。





公園や学校の小さな池でも
トンボは生活が出来れば居
ついで、いろいろな姿を見
せてくれます。
大きなもののチヨウを食
べるシオカラトンボ、

下左は、イトトンボの仲間
の産卵はみな同じようで、
雌雄が協力して、行ないます。



アオジョウカイ変わった名前（浄海坊）の一種。里山には
普通に見られるホタルに近い仲間、下のシリアゲも珍しく
は無い。両方とも肉食昆虫です。





5・6月の里山にはウスバシロチョウがたくさんいます。この種はなぜか昔より増えたような気がします。これでもアゲアハチヨウ科です。

イタドリ、スカンポ、ギシギシなど、酸っぱいタデ科の草にいます。テントウムシと、まちがいです。イタドリハムシです。



写真、ギンヤンマの産卵は、さる博物館の中の庭の小さな池で目撃、その日は残念な事にサブカメラしか持っていなかったので、翌日に期待して、もう一度出かけたら、期待通り翌日も産卵にきてくれました。こんな運の良い事もあるんですね。いかにもギンヤンマがいそう、いる池に何年も通ってチャンスが無かったものが、こんな小さな池で！と言うほど小さな池でした。しかもその時でなく、翌日ですから、本当にラッキーということなのでしょう。





おなじみナナホシテントウムシどこの国でも親しまれ愛されている
むしです。

ミツバチは人間との関りも古く、馴染んでいます。人間が恩恵に浴し
ていることの方が遥かに多いのですが、よく付き合ってくれて
いますね。感謝、感謝です。



ジンガサハムシ

里山のクヌギやナラも少なくなり
左の写真のような情景がなかなか
見られなくなってしまいました。
でも少しは残されています。
大切にしましょう。

下の左はジンガサハムシ、硬い羽の
周辺が透明で、オシヤレなハムシの
一種です

下は一番大きなテントウムシ、
カメノコテントウです。

5、6月頃、澤筋の、サワクルミの
葉を気をつけて見ると、よく見られ
ます。

クルマハムシの幼虫、卵、蛹などを
食べています。



カメメノコテントウ





雑木林の中は昆虫たちの楽園です。いろいろなカミキリがいますが日本で一番大きなカミキリが、上のシロスジカミキリです。体長は7センチほどあります。他にも多くの種がいます。よく探してみましよう。下のキマワリという甲虫はよくみられる虫です。雑木林は、ほかにも沢山の昆虫たちがすみかになっていますから楽しいところです。



そろそろ山道へはいろいろかというあたりで、道おしえとも呼ばれているハンミョウにでています。こちらが先に相手を見つけ、そっと近付かないとないと、よく見ることができません。

下はオオモンクロベッコウという「狩り蜂」が獲物のクモを運んでいるところです。道や少し開けた所でわりあいよく見ることが出来ます。





ヤマキチヨウ

昆虫は地球上に100万種とも300万種とも
いわれています。つまりまだよく分かっ
ていないのです。

ですから、ここで取り上げたのは
皆さんの身近にいる虫の、その中の
ほんの一部の一部に過ぎません。



キリギリス



アカスジキンカメムシ



ホンアシナガバチ



カワトンボ



ハナアブ



ハルゼミ



オオムラサキ



カメムシ孵化



ムネアカカオオアリ